

第 63 回 企画展

# 農村に生きる女たち

～戦後の混乱期に、生活改善を進めた女性たちに学ぶ～



平成 27 年 1 月 9 日～平成 27 年 3 月 25 日

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

昭和20年代の農村は、戦後の混乱期から立ち上がり、国民の命を背おった使命感に燃え、食糧増産に励んだ生産第一の時代でした。

そうした中、女性たちが、より良い生活をめざし学習し、農業と暮らしを担うと共に、地域の人々にはたらきかけ、明るく住みよい農村社会構築の役割を果たしてきました。

当時、農家では夕餉<sup>ゆうげ</sup>の支度が始まると囲炉裏やかまどの煙が家中に充満し、女性たちは、疲れた身体を癒す暇もなくその中で家事をこなしました。そして家族も煙害等、衛生上の問題が取り上げられ、これらを改善しようと「かまど改善」が盛んに行われ普及しました。さらには便所や台所の改善から農繁期の共同炊事や作業着の改善、営農費と家計費の記帳、家族の民主化・家事分担、農繁期託児所の開設等、多様な生活改善活動が展開されました。

封建的な農家農村にありながらも、生活を変え地域を動かし、暮らしやすい農村を拓き、時代を変えてきた農家の女性たちの歴史と、その活動の一端を紹介します。

そして昭和の女性たちの足跡から、現在の豊かな暮らしを見つめ、未来を展望する機会とします。



【共同炊事】



【ミシン】



【手っ甲】



【作業衣ファッションショー】

岩手県立農業ふれあい公園

## 農業科学博物館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台